

交換留学概要

電気通信大学
国際教育センター

2020年11月26日



交換留学とは

交換留学とは、本学に在籍したまま協定校に半年間または1年間留学することです。協定校において授業を履修する他、一部の協定校では、研究を行える可能性もあります。多くの協定校では、英語で授業が開講されています。

留学スケジュール

協定校の学期に合わせて留学します。原則として学域2年次以上から留学が可能です

単位認定

協定校で取得した単位は、学域生は60単位まで、大学院生は4単位まで本学の単位として認定することができます。しかしながら、学域生の場合は、標準修了年限での卒業は困難となる場合が多いです。留年を避けたい学域生は、UECグローバルリーダー育成プログラムへの参加を考えてみましょう

協定校の授業料は不要

授業料相互不徴収の覚書により、協定校に授業料を支払う必要はありません。他方、留学中に本学を休学することは認められず、留学中も本学の授業料は納める必要があります

必要な語学力

留学先の正規授業を履修しますので、あらかじめある程度の語学力が必要です。一部、語学学習のみを目的とした交換留学が可能な協定校もあります。中国語、ドイツ語等が堪能な場合、それらの言語で授業を受けることも可能です。

交換留学のメリット

協定校の授業が受けられる

協定校の正規の授業（専門系、教養、語学）や交換留学生を対象とした特別な授業などがあります。現地の学生や世界中から集まる留学生と一緒に授業を受けます

協定校でのサポートが充実

宿舎の斡旋が受けられる他、交換留学生を対象としたオリエンテーション・イベントなどが実施されます

協定校の授業料は不要

例えば、アメリカの協定校であるオクラホマ大学の年間授業料（州外授業料）は約300万円ですが、交換留学の場合、授業料は免除されます。本学の授業料は必要です

交換留学生とのタンデム(言語交換)プログラム

留学準備の一環として、本学で学んでいる交換留学生等とペアで定期的に会話をするプログラムに参加可能です（新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し一時休止中）

返還不要の給付型奨学金が支給される可能性

一定の成績要件等を満たす場合、日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度奨学金 月額6~8万円など、返還不要の給付型奨学金を受給できる可能性があります

協定校の例（授業料相互不徴収）

この他、詳細は国際教育センターウェブサイトに掲載の募集要項等を参照のこと

国・地域	大学	国・地域	大学
アメリカ	オクラホマ大学	中国	上海交通大学
ドイツ	ブレーメン大学	中国	中国科学技術大学
スウェーデン	ブレーキング工科大学	中国	北京郵電大学
エストニア	タリン工科大学	台湾	淡江大学
フランス	オルレアン大学工学部	台湾	国立台北大学
オーストラリア	ウーロンゴン大学	韓国	昌原大学
タイ	キングモンクト工科大学ラカバン校	メキシコ	メキシコ国立工科大学
タイ	キングモンクト工科大学トンブリ校	ブラジル	カンピナス州立大学

留学先の選び方

- 教育内容で選ぶ

履修したい授業科目がある？授業は何語で開講されている？

- 協定校の特徴で選ぶ

理工系大学or総合大学、国際的評価、設備、日本人の多寡など

- 国や都市で選ぶ

規模、英語通用度、産業、歴史文化、治安、気候など

- 費用もよく確認しましょう

都市によって物価は様々



情報収集の仕方

- ✓ 学内外の説明会に参加する
- ✓ インターネットや文献で調べる
- ✓ 留学経験者や留学生に聞く
- ✓ 留学報告書を読む

費用の目安 (特に記載のない場合、1年間の費用)

本学授業料	通常どおり
往復航空券	10～25万円程度
ビザ申請代	～数万円 (国・地域によって、日本もしくはは現地で申請)
海外旅行保険	約10万円 (原則として本学指定の保険)
現地保険	アメリカ、ドイツなど一部の国で別途必要。約10万円
OSSMA	約3万円
予防接種	アメリカなど一部の国で必要。数万円
宿舍費	月額3～6万円
食費	月額数万円程度 (自炊の場合)
教科書代等	～数万円
交通費	宿舍の場所による
学生サービス費	アメリカ、ドイツなど一部の国で必要。8万円程度



ビザ申請には、**銀行残高証明**または**奨学金証明書**などが
必要です

給付型奨学金（返還不要）

奨学金のチャンスがあります(2021年度の詳細は2月ごろに判明します)

★JASSO海外留学支援制度奨学金

月額 6 ～ 8 万円 + 経済的困窮者には渡航支援金16万円

成績要件 前年度GPA2.30以上

(秀/優3点、良2点、可1点、不可0点で計算)

★トビタテ!留学JAPAN

インターンシップや研究活動が重視されます。

★本学基金による助成



必要な語学力は？

目安：CEFR B2レベル

英語の場合、原則としてIELTSまたはTOEFL iBTのスコアが必要

対象大学	TOEFL iBT (公式) 受験料約25000円	TOEFL ITP (非公式) 受験料約4500円	IELTS アカデミック 受験料約25000円	TOEIC L&R 受験料約6500円
オクラホマ大学	61	不可	6.0	不可
ヨーロッパ協定校	一部の大学は61 他は72以上	原則不可 (500)	5.5	タリン工科大780
オーストラリア協定校	64以上	不可	6.0	不可

TOEFL ITP

学内で年数回実施(現在休止中)

次回：~~—~~月~~—~~日(~~—~~) ~~—~~申込みは生協へ

英語の試験について

IELTS

イギリスで開発された英語 4 技能を測るテスト。2 種類のテストがあり、留学に使えるのは**アカデミックモジュール**
JSAF <http://www.jsaf-ieltsjapan.com/>
英検協会 <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

TOEFL iBT

アメリカで開発された大学レベルのアカデミックな場面で必要とされる英語 4 技能を測るテスト
CIEE <https://www.cieej.or.jp/toefl/>

TOEFL ITP

TOEFLの旧式テスト（ペーパーベース）で、現在は非公式テストとして位置づけられているものの、
留学や大学院入試等で使えることもある。本学キャンパスで年に数回実施している（問い合わせ先：
実践的コミュニケーション教育推進室または本学大学生協）

TOEIC L&R

オフィスや日常生活における英語によるコミュニケーション能力を測定するリスニングとリーディングのテスト
<https://www.iibc-global.org/toEIC.html>

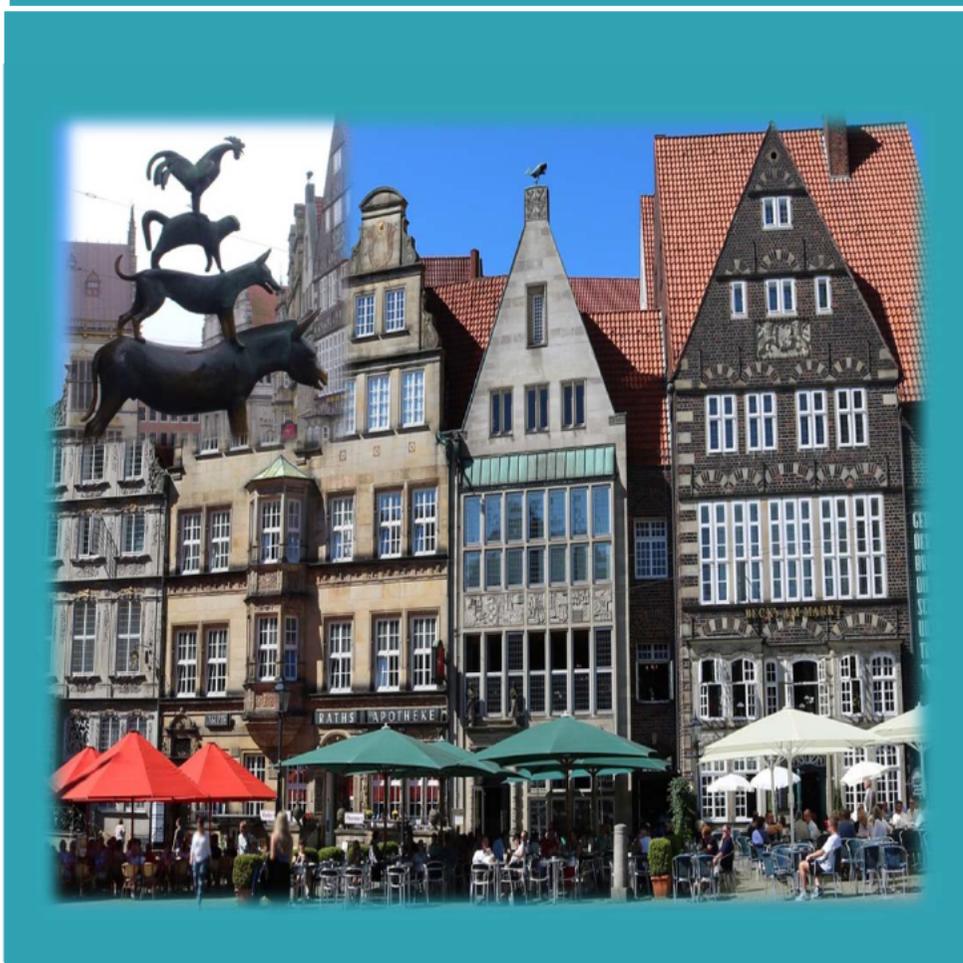
米国 オクラホマ大学



1890年創立の州立総合研究大学。カーネギー分類では最上級の研究大学(R1)として評価されています。スポーツの強豪校としても知られ、8万人以上を収容するスタジアムが置かれるなど、キャンパスは活気に溢れています。

所在地	オクラホマ州ノーマン
学期	秋学期 8月中旬～12月 春学期 1月～5月
言語	英語
語学力等	IELTS 6.0 TOEFL iBT 61 (ITP不可)
宿舎	キャンパス内
履修	他分野も履修可能
その他	募集枠は、各年度原則1名(半年留学の場合2名)

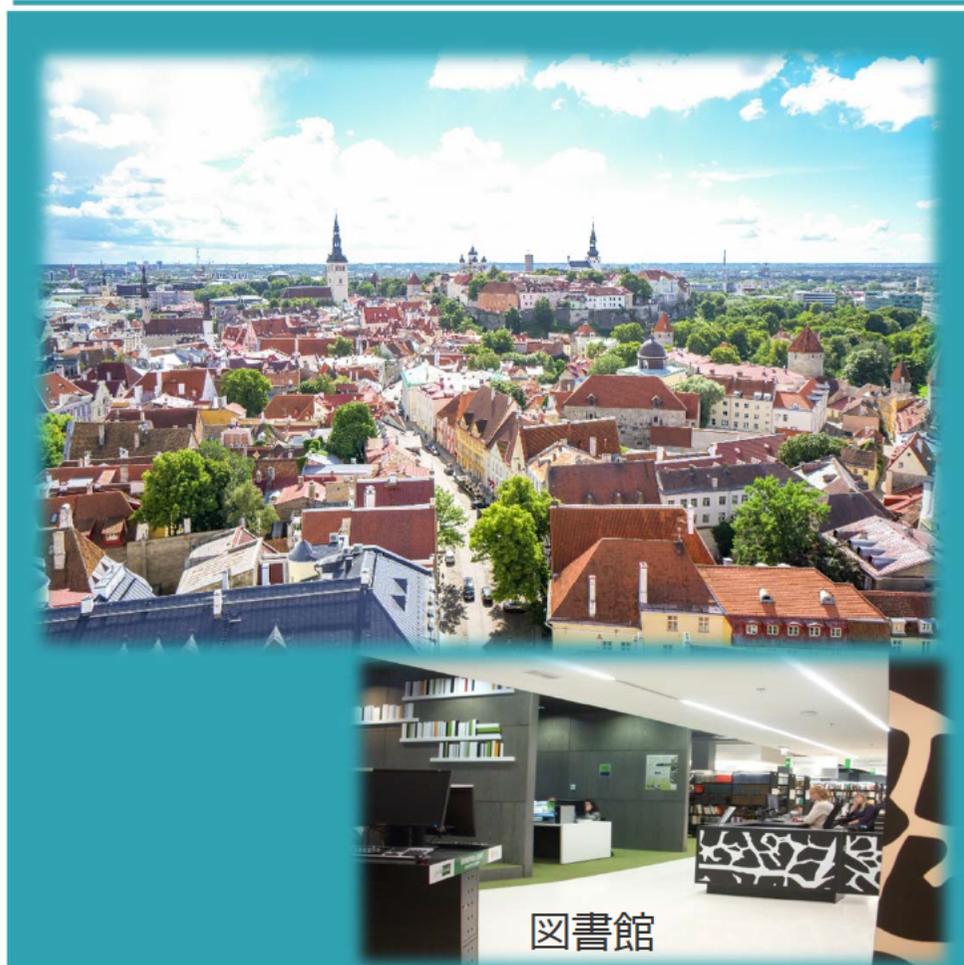
ドイツ ブレーメン大学



ドイツ北部のブレーメンに位置する総合大学。旧市街地には世界遺産の美しい街並が残ります。母国語はドイツ語で、大学の授業はドイツ語及び英語で開講されています。日本人学生が比較的少ない環境です。

所在地	ブレーメン
学期	冬学期 9月中旬～2月 夏学期 3月中旬～7月
言語	英語（またはドイツ語）
語学力等	IELTS 5.5 (TOEFL ITP500)
宿舎	キャンパス外のアパート
履修	他分野も履修可能 有料のドイツ語短期集中コースあり
その他	募集枠は、各年度5名

エストニア タリン工科大学 (TalTech)



IT活用の先進国として注目のエストニアを代表する工科大系大学です。スタートアップ支援も充実しています。旧市街地には世界遺産の美しい街並が残ります。母国語はエストニア語ですが、ヨーロッパの中でも英語通用度が高く、多くの授業が英語で開講されています。

所在地	首都タリン
学期	秋学期 9月～1月 春学期 1月～6月
言語	英語（またはエストニア語）
語学力等	IELTS 5.5 TOEIC 780
宿舎	キャンパス内または近郊の寮
履修	IT系、工学系、経済経営系のいずれかをメインとして選ぶ。IT系は原則学域3年次以上
その他	募集枠は、各年度数名 研究のみを行うことも可能

スウェーデン ブレーキング工科大学



スウェーデン南部の歴史ある軍港の街カールスクローナに位置する理工系大学。母国語はスウェーデン語ですが、スウェーデンはヨーロッパの中でも英語通用度が非常に高い国です。日本人が極めて少ない環境です。

所在地	カールスクローナ
学期	秋学期 9月～1月 春学期 1月～6月
言語	英語（またはスウェーデン語）
語学力等	IELTS 5.5（TOEFL ITP500）
宿舎	寮なし。宿舎探しのサポートあり
履修	学域3年次以上でないと履修できない科目が多い
その他	募集枠は、各年度数名

中国 上海交通大学



世界大学ランキング上位の名門大学。理工系分野の強い総合大学です。教育・研究の国際化が進んでおり、多くの授業が英語で開講されています。

所在地	上海
学期	秋学期 9月～1月 春学期 2月～6月
言語	中国語または英語
語学力等	HSK 5級 IELTS 6.0 TOEFL iBT 90 GPA要件あり
宿舎	学生寮あり
履修	英語コースまたは中国語コースの どちらかを選択する
その他	募集枠は、各年度数名

応募方法・手続き

募集は年2回(春/秋)行います

メインは秋の募集です

秋募集(10月頃) : 翌年7~9月留学開始
春募集(4月頃) : 翌年1月~3月留学開始

募集要項は国際教育センターウェブサイト

学内選考（書類・面接）を経て、協定校に推薦します
学内選考基準：学業成績・語学力・意欲等で総合的に評価

学内選考倍率は？

今までのところ高くはありませんが、各協定校の枠が数名程度のため、第一希望に留学できない人は出てきています。申請時に第三希望まで記入することをおすすめします。

情報収集に便利なサイト

JASSO海外留学支援サイト（国別留学情報他）

http://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/

トビタテ！留学JAPANサイト（奨学金情報の他、留学体験などが豊富）

http://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/

外務省海外安全ホームページ（国別情報。特に治安や生活面）

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

日米教育委員会 Education USA

<https://www.fulbright.jp/study/>

駐日欧州連合代表部

https://eeas.europa.eu/delegations/japan_ja

ドイツ学術交流会(DAAD日本)

<https://www.daad.jp/ja/>

電気通信大学国際教育センター

<http://www.fedu.uec.ac.jp/index.html.jp>

電気通信大学国際課（海外旅行保険、OSSMA、JASSO奨学金）

<http://kokusai.office.uec.ac.jp/www/support/top.html>

http://kokusai.office.uec.ac.jp/www/jasso_sesp/top.html

交換留学Q&A

いつから留学できますか？

原則として留学開始時に学域2年次以上。

留学が比較的しやすいのは学域3年・博士前期1年の秋から。
1～3月に留学を開始することも可能ですが、本学における授業履修に支障がないか要確認。

大学院受験、就職活動、研究室配属等にも留意が必要。

語学力のスコアはいつまでに必要ですか

定められた語学力のスコアは、原則として学内申請時までには必要ですので、早めに準備をするようにしましょう。

学内申請時までに関に合わない場合であっても、協定校への推薦期日までに取得できる見込みがあれば申請は可能です。その場合は、あらかじめ国際教育センターまで十分ご相談ください。

単位認定はどのようにされますか

協定校で取得した単位は、学域は60単位、大学院は4単位まで本学の単位として認定可能です。本学に該当科目がない場合は、協定校の科目名で認定することもできます。

原則として、単位認定の審査結果は、学生が申請をした学期の、次の学期末に出ます。なお、協定校の単位数と本学で認定される単位数は異なる場合があります。

単位認定に必要な資料

- ・シラバス(授業内容と時間数が記載されたもの)
- ・成績証明書 等

費用は高額ですか？

本学の協定校に関しては、欧米諸国であっても生活費は調布とさほど変わらないようです。

往復航空券代、ビザ申請代、保険代などが別途かかります。詳細はスライド5を参照のこと。

どんな授業がありますか？

協定校のウェブサイトに交換留学の情報がまとめられています(exchange program等で検索)。その中に、交換留学生が履修可能なCourse List (授業科目リスト) が掲載されています。科目によっては、前もって履修が必要な科目 (Prerequisite)が指定されていることがありますのでよく確認しましょう。

専門科目、一般教養科目の他、交換留学生を対象とした語学の授業などが設けられていることもあります。

履修する授業数は、通常は1学期(半年)に5科目程度です。1科目が週に2回以上開講されることも一般的です。

通常、協定校での履修科目は留学前にある程度決めておく必要がありますが、多くの協定校では、留学開始後に履修科目を変更することができます。

本スライドでは主として協定校では英語で授業を受けることを想定していますが、中国語、ドイツ語等、英語以外の言語で留学することも可能です。

何から始めればよいですか？

留学にあたって最も大きいなハードルは語学力です。まずは自分の語学力（英語等）を確認しましょう。今まで語学の試験を一度も受けたことがない人は、まずは受験してみましよう

自分の語学力をまず把握し、十分な語学力がない場合は、計画的に学習して基準に到達するよう頑張りましよう

留学相談

国際教育センター 佐々木 直子

東2号館-205

abroad@fedu.uec.ac.jp、nasasaki@uec.ac.jp

休学しての留学なども含め、どんな相談も歓迎です。
交換留学は今すぐご相談ください。

現在は、Zoomを使用したオンライン留学相談を行っています。
メールで、学籍番号、氏名、希望する日時（複数）をお知らせください。

最新情報は
国際教育センターウェブサイト

